

A町は駅から離れた閑静な住宅地。300世帯、約700人が暮らしています。ただ新興住宅といっても、かれこれ50年は経ち、高齢化がすすんでいます。気がつけば高齢の夫婦のみで暮らしている家庭が目立つようになりました。

お隣のB町は200世帯、約400人が暮らす住宅地ですが、高齢化はさらに深刻です。連れあいに先立たれ、いよいよ独り暮らしとなった家も出てきました。

このA町とB町に困った問題が起きました。日々の生活を支えていた近くのスーパーが閉店してしまったのです。近くにコンビニはあるものの、毎日の食材や日用品の買い物をするには、やっぱり不便。次に近いスーパーといえば、隣の学区のKストアですが、車で30分はかかります。それに高齢化の進むA町、B町では車に乗らない家もあります。

便利な時代です。ネットショッピングや宅配、生協などもあります。でも高齢者にとってはまだまだインターネットを自在に扱うのは難しいし、なにより食材や日用品など日々の暮らしに必要なものは手にとって自分の目で確かめて買いたいと思う人も結構います。

そこで2つの町では、それぞれ町内会で話し合い、次のようなことを考えました。

**A町** 連れだってスーパーに行ける方法を町内会でつけれないか。

**B町** スーパーと交渉して、移動販売をしてもらえないだろうか。

それぞれ、どのような方法で実現できるでしょうか。考えてみてください。